

# 風

## かぜ

カゼ

2005.2-17 No.78

### ◇南無は「ナム」か「ナモ」か

真宗聖典の中の南無阿弥陀仏のお念仏の読みには「ナムアミダブツ」でなく「ナモアミダブツ」と表示されています。「ナム」ではないのですかと、問われたことがあります。「無」は確かに「ム」としか読めない字ですので「ナムアミダブツ」の方が自然に聞こえますが、そもそもこのお名号は印度の言葉で、その意味内容があまりにも深遠なため中国に仏教が伝来した際、翻訳せず音写として、南無阿弥陀仏と表記されたものと伝えられています。印度では今でも「ナマス」という言葉は信じる・ゆだねる・ありがとう等広く日常生活の中で生きている言葉との事です。それが「ナモ」なのです。だから「ナモ」なのです。「ナモアミダブツ」は仏さまにお任せします。仏さま有り難うの親しみのこもったご挨拶言葉なのです。

### ◇ボタンの木は元気に冬を越してくれました

立春の日を待ちかねたように、この日を境に芽のふくらみが顕著になって参りました。冬の厳しさから解放され、やわらかな春の陽射しを灌木一杯に受け、元気に育ってくれています。自然のサイクルの確かさ力強さを感じるばかりです。

### ◇今月の安楽寺伝道揭示板

善い事をしようと思えば

出来る

悪い事をすまいと思えば

止められる

これを思い上がりという

〒105-0014

東京都 港区芝1-12-18 安楽寺

03-3451-1509